

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者の意向に沿った十分な対応ができないことがある。	利用者がサービスに満足して日常生活を送ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会以外にも、普段より利用者の意見を取り入れ、こまめに対応をする。 ・利用者の感情表出が捉えられるように、職員は十分に観察して記録し、意向の把握に努める。 ・ケアモニタリングも必要なとき、3ヶ月期間に捉われず行うこと。 	6か月
2		利用者に活気がない。居室で過ごすことが多い。	利用者が元気をもち、張りのある日常生活を送ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々ができるレクリエーション内容とし、週5回程度は実施する。 ・レクリエーションのほかに、日常生活(調理、洗濯、掃除)の手伝いや趣味活動について一緒に取り組む。 ・ボランティアや家族による話し相手の実施。 	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。